

# 村の祭りはおもしろい



写真:写真家 荒井賢治

佐那河内村  
学術講演会

令和4年 10.2 日曜  
10:00~12:00 (終了予定)

参加  
無料

佐那河内村役場  
(村民ホール)



高橋 晋一

たかはし しんいち

1963年、神奈川県横浜市生まれ。慶應義塾大学大学院社会学研究科修了。弘前大学人文学部助手を経て、現在、徳島大学総合科学部教授(2021年より学部長)。専門分野は文化人類学・民俗学。これまで日本および東アジアの地域文化(祭り、民俗芸能、宗教文化等)について、現地調査をふまえた研究を重ねてきた。1995年に徳島大学に着任して以降は、阿波踊りをはじめ、徳島県内各地の祭りや民俗芸能の調査研究を精力的に推し進めている。

■主催：佐那河内村

■後援：阿波学会

お問い合わせ 企画政策課 TEL 088-679-2973

佐那河内村の大宮八幡神社・朝宮神社・嵯峨天神社の三社の秋祭りでは、神輿に加え迫力ある屋台が登場し、朝宮神社の祭りではさらに獅子舞や傘踊りが華を添えます。こうした祭りのにぎわいに加え、村内の祭りには県下でも特色ある民俗が伝えられています。たとえば、お囃子に笛が入る、神輿が川に入るといった習俗は県下でもあまり見られません。嵯峨天神社の特殊神事である「御供握り」「鍬祭り」は希少な行事であり、三社共通で見られる「六社まいり」の習俗は古い信仰の形を伝えていきます。今回の講演会では、映像をまじえ、佐那河内村の三社の祭りと民俗芸能の特色を紹介します。

さち香る 風の谷



SANAGOCHISON

新型コロナウイルス対策を実施しております。ご協力をお願いします。



マスク着用



室内換気



室内除菌



対人距離確保



体温管理



手洗い